

広行監第2号
令和5年7月25日

湖北広域行政事務センター
管理者 松居 雅人 様

湖北広域行政事務センター
監査委員 島寄 浩明
監査委員 鏑田 明

令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算
および基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項および第241条第5項の規定に基づき審査に付された令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算および基金運用状況について審査を終了したので、その意見書を次のとおり提出します。

令和4年度 湖北広域行政事務センター一般会計 歳入歳出決算審査および基金運用状況審査意見書

1. 審査の対象

- (1) 令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

2. 審査の期間

令和5年7月13日

3. 審査の方法

令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、関係帳簿、証憑書類等と照合を行い、計数の正確性、予算の執行状況の適否について審査を行いました。

4. 審査の結果および意見

(1) 全般事項

審査に付された令和4年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、関係帳簿証憑書類等と照合のうえ、さらに内容について検討審査した結果、決算は正確であると認められました。

(2) 新施設整備運営事業について

新施設整備運営事業では、事業者選定が終わり、特定事業契約が締結されました。

また、隣接する県道の道路改良工事が完了し、一極集中の施設整備による収集車両・持込車両の集中・増加に対応したスムーズで安全な車両通行を確保でき、歩道を整備することで通学路の更なる安全確保を図ることができました。

今後の事業についても、PFI方式のメリットを活かした施設整備が計画どおり進められるよう、引き続き取り組んでいただきたいと思います。

さらに、この事業は長期間にわたり多額の経費がかかる事業であり、高い専門性が必要とされますが、適正に予算が執行され、客観性をもった説明ができるように努めていただきたいと思います。

稼働状況や財務分析など事業者のモニタリングを実施していくためのモニタリング能力等、職員力向上のための人材育成や研修の実施など各職員が能力を発揮できるような環境づくりをお願いします。

(3) 旧施設の跡地利用及び適正管理について

新施設への移転により稼働を終了していく施設について、公有財産の利活用方針に基づき、令和4年4月に旧こもれび苑の個別の方針を定められました。計画的に跡地利活用を図っていかれるようお願いいたします。

あわせて、既に稼働を終了した旧施設について、防犯上の観点からも適正管理をされるようお願いいたします。

(4) 現施設の適正管理について

新施設への移転を控え、現施設の維持管理については、残りの稼働期間を見据え、計画的に整備するなど極力投資を抑えつつ、安定稼働を継続するようお願いいたします。

(5) ごみの減量施策の展開について

ごみの減量目標に比べて実績値との差が令和3年度から約2.3%減少し、0.4%まで縮小したことの説明を受けました。今後も、人口減少に伴う自然減少以外に減量につながる施策を構成市とともに展開され、結果として処理費用の削減につなげていただくよう他自治体事例を踏まえた検討をお願いいたします。

(6) むすび

センターが担う業務は市民生活の公衆衛生確保のために必要不可欠であり、安定的に処理を継続することが求められます。今後についても、職員が一丸となり、業務が円滑に遂行されることを期待します。

5. 審査の概要

(1) 決算総括

令和4年度における一般会計の予算総額は、27億8,857万円で、これに対する決算総額は、歳入は28億2,997万1,757円、歳出は、26億9,296万2,592円、歳入歳出差引額、実質収支額は、1億3,700万9,165円となっています。

令和3年度の実質収支額が2億4,389万8,035円であったことから、単年度収支は1億688万8,870円のマイナスとなっています。

(2) 歳入総括

収入済総額の予算額に対する比率は101.48%となっています。調定額に対する収納比率については、99.85%となっており、使用料および手数料と諸収入（資源ごみ売却）とを合わせ、420万3,500円の収入未済額がありました。

収入総額に対する割合（構成比）については、分担金及び負担金が68.75%、使用料及び手数料が18.65%、国庫支出金が0.77%、財産収入が0.06%、繰越金が8.62%、諸収入が2.81%、組合債が0.34%となっており、分担金及び負担金が収入の7割を占める結果となっています。

(3) 歳出総括

予算額に対する執行率は96.57%となり、支出済総額は前年度比99.10%となっています。

歳出総額に対する割合（構成比）は、議会費が0.06%、総務費が4.87%、衛生費が94.33%、公債費が0.74%となっており、歳出全体において衛生費が多くを占める結果となっています。

(4) 財産に関する調書

ア 土地、建物

変更なし

イ 物品

変更なし

ウ 基金

基金の年度末現在高は、施設整備基金1億8,049万5,228円となっています。